

家庭教育学級  
を企画運営する  
PTAや団体の  
皆さんへ

家庭教育支援  
事業を担当する  
自治体の職員  
の皆さんへ

# 家庭教育学級・事業の企画のために

トレンドと基本を知って、学んで、役に立つ講座のヒント

- ★1回で2つのテーマについて学べます。(それぞれ1時間～1時間半程度の予定)
- ★家庭教育学級講座の企画のポイントについても学びます。
- ★東京都作成「家庭教育学級 テーマ・講師の例(リスト)」を配ります。

■日時 **平成 30 年 7 月 5 日(木) 13:30～16:30**

主催：東京都教育委員会

■会場 **中野サンプラザ スカイルーム** JR・東京メトロ「中野」駅北口徒歩1分

## テーマ 1

学校教育をめぐる新しいトピックを学ぼう《子供たちが生きる社会で必要とされる力とは…?》

### これから子供たちが学ぶ“プログラミング教育”とは?

- ★2020年度から全面実施される学習指導要領で示され必修化される「プログラミング教育」。
- 子供は学校で何を学ぶの?何のために学ぶの?何の役に立つの?
- そんな保護者の関心・疑問に答えて、プログラミング教育のねらいや具体的な教育内容等を、モデル授業の先行事例を通して紹介。
- 保護者の誰も経験していない新しい教育を理解するための講座はどうでしょう?

講師

**竹元 賢治(たけもと けんじ)さん**

インテル株式会社 教育事業開発担当部長

東京都教育委員会「高度IT利活用社会における今後の学校教育の在り方に関する有識者会議」委員

ICTを活用する能力や批判的思考力、問題解決力、コミュニケーション力など、これからの社会を生きるために必要なスキルを育てる教育プログラムを提供するCSR活動を長く担当し、小学校でのモデル事業にも携わる。

子供たちが学校で勉強することを保護者も知っておきたいね。

## テーマ 2

家庭教育学級講座の最近のトレンドから学ぼう《大切なことの基礎は家庭で学んでいます》

### 心理学やコミュニケーションスキルから学ぶ、親子の関わり・しつけ・家庭教育

- ★昨年度、都内で開催された小中学校 PTA 等による家庭教育学級(※)の約 1/4 のテーマが、心理学やコーチング等を生かしたしつけや子供との関わり方、子育ての方法。「アンガーマネジメント」「アドラー心理学」「勇気づけ」「叱らない子育て」「コーチング」など。(※東京都の補助金事業で実施された講座等)。
- こうしたキーワードに共通する子育てのポイントを学んで、講座の企画や進行に活かしましょう。

講師

**森 裕子(もり ゆうこ)さん**

認定 NPO 法人育て上げネット 母親の会「結」相談員、  
家族相談士、精神保健福祉士

ニート・ひきこもり等社会的自立に困難を抱える若者の支援に携わりながら、その親のサポートのために、発達に応じた家族間の人間関係や親子の距離等、家族心理を基本として、「結」での相談等の支援を行っている。

子供を叱って自分の方がイライラすることも。子供との関係や距離を見直す講座にできるかな?

■参加費 無料

■対象

- ①都内小中学校 PTA 役員等で家庭教育に関する学級・講座の企画・運営に携わる方
- ②地域で青少年健全育成活動、家庭教育支援に携わる方(青少年委員、主任児童委員、NPO 団体等)
- ③都・区市町村教育委員会の社会教育・生涯学習関係職員、家庭教育事業担当職員、
- ④都・区市町村の子育て支援等関係職員(児童館職員等)、母子保健、幼児教育関係職員等

■定員 100名

■先着順で申込を受付けます。ファクシミリ又は電子メールで。詳しくは裏面(2枚目)を御覧ください。

【問合せ先】東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課 地域支援担当 電話(直通) 03(5320)6859

# 東京都教育委員会・家庭教育支援施策研修（第1回） ■受講申込票【教育庁生涯学習課宛て】

受講申込  
ご案内

## ○申込みは電子メール又はファクシミリで受け付けます（先着順）

- \* 受講決定者には、当課からメール（添付）又はファクシミリの返信で、**研修参加票（地図入り）**を、1名につき1枚送ります。
- \* 定員になり次第締め切ります。定員を超えた場合のみ主催者から連絡します。

### ●電子メール

- ◆メール本文に、①区市町村名、②氏名、③所属（学校名等）、④参加票返信先アドレス又はFAX番号を記入し、下記アドレスに送信してください。
- ◆件名に『7/5 家庭教育支援研修申込』と書いてください。
- ◆メール送信先アドレス  
**ml-sy-kateikyousien@section.metro.tokyo.jp**  
※冒頭は小文字で「エム・エル」です

### ●ファクシミリ

- ◆この用紙に記入して、送信してください。（送信状は不要です）
- ◆ファクシミリ送信先  
東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課 家庭教育支援担当 宛  
**ファクシミリ番号 03-5388-1734**

#### ※申込みの際の御注意※

- 同一の部署、学校、施設、団体等から複数で申し込む場合は、可能な限りとりまとめて代表の方がお申込みください。
- 複数の方をまとめて申し込まれた場合は、申込み代表の方に「参加票」を人数分お送りします。
- 個人でも受講していただけます。

#### ■ご記入者／ファクシミリ送信元

自治体名	
ご所属（部署名・学校名等）	
お名前	
電話番号（緊急連絡先）	
ファクシミリ番号 ※「参加票」返信先	
備考・連絡事項等	

※↑このファクシミリ番号に「研修参加票」をお送りします。  
※お預かりする個人情報、この研修に関する連絡以外には使用いたしません。

## 研修受講申込者

	受講申込者氏名	所属 (職場・団体名等)	備考 ※「参加票」の返信先の連絡等
1			
2			
3			

※記入の行が足りない場合は、別紙に書いてお送りください

#### 【問合せ先】

東京都教育庁地域教育支援部 生涯学習課 地域支援担当(家庭教育支援) 電話 03 (5320) 6859